

ユネスコ無形文化遺産

# アイヌ古式舞踊

Traditional Ainu Dance

阿寒湖アイヌシアター  
イコロ



# イナウとは、それそのものがカムイであり、祈りである。

アイヌの古式舞踊は、北海道各地によってさまざまな歌、踊りがあります。同じ歌、踊りでも、節や振り付けが違うこともちらほら。ここ阿寒湖で受け継がれてきた古式舞踊をより深く知っていただくために、阿寒湖アイヌシアター「イコロ」では、かつてアイヌがカムイ(神々)からつくり方を教わった祭具「イナウ」をモチーフに古式舞踊を披露します。

「イナウ」とは、それそのものがカムイであり、カムイがこの地に現れる時に捧げる供物であり、カムイの世界に送る土産でもあります。イナウの最も大きな役割、それは、アイヌとカムイを繋ぎ、意思疎通を図るための仲介役。人は、本当の気持ちを正しい言葉で伝えることに長けていません。そこを補ってくれるのがイナウであり、歌であり、踊りであり、祈りなのです。

私たちが住む世界にはたくさんのカムイがいます。中でも阿寒湖のアイヌが大切にしているカムイはより身近にあるもの。それは、火、水、土、風、太陽。本公演では、この5つのカムイ、イナウにスポットを当てて、歌、踊り、祈りを披露いたします。



## Story



### 火のイナウ / 「カムイノミ」

「カムイノミ」とは、アイヌの儀式。祝詞をカムイに対して読み上げ、祈りを捧げます。はじめに祈りを捧げるのは、火の神「アベフチカムイ」。アベフチカムイは、アイヌと他の神々たちの伝言役と言われており、チセ(家)の囲炉裏に「アベイナウ」として祀ります。



### 水のイナウ / 「トノトソロバ」

「トノト」とは、カムイノミの儀式の中で用いられる「酒」。男だけが、イナウを削り、触ることが許されるように、トノトは、アイヌの女性だけが作ることが許された神聖なお酒。トノトをつくる時には、フチ(尊敬される女性)たちが、歌いながらつくると言われています。



### 土のイナウ / 「豊年踊り」

「豊年踊り」とは、種を撒き、作物が豊富に育ちますようにと願い、唄う踊りです。アイヌの男性は、狩猟を主として山や川に入り、女性は森の中で植物を採集していました。きのこや山菜など、必要な分だけを取り、それをコタン(村)のみんなに共有する。その精神は今でも変わりません。



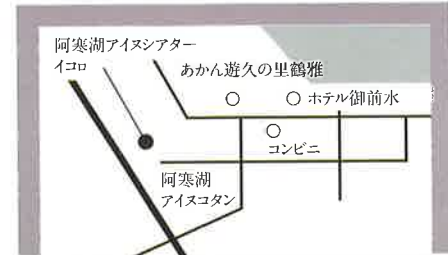
### 風のイナウ / 「ムックリ」「鶴の舞」

「ムックリ」とは、切り込みを入れた竹を口にくわえ、息の振動を利用して奏で、口琴と呼ばれる楽器です。アイヌは、風や波の音など、自然の音色をムックリで表現しています。「鶴の舞」は、阿寒湖の代表的な踊り。釧路地方に多く生息する鶴が、風に乘着って羽ばたく様子を現しています。



### 太陽のイナウ / 「チュプカムイホ」「輪踊り」

普段から身近にあり、人々の生活を見守ってくれる太陽。この太陽が隠れてしまう「日食」は、非日常のこと。これを危惧し、アイヌが歌った唄が「チュプカムイホ」です。「輪踊り」は、別名、「踊り比べ」といって、宴の終わり、円をつくり、疲れ果てるまで唄った踊りであると言われています。



### アクセス

公演場所: 阿寒湖アイヌシアター「イコロ」

北海道釧路市阿寒町  
阿寒湖温泉4丁目7-84

[www.akanainu.jp/tr-dance](http://www.akanainu.jp/tr-dance)

